



中将姫誓願桜
(岐阜県岐阜市大洞)



株式会社 電算システム

株主の皆さまへ

第53期 決算のご報告

2019年1月1日～2019年12月31日



東証第一部／名証第一部 3630

Challenge Innovation Speed



表紙に
ついて

Contents

- 02 株主の皆さまへ／配当について
- 03 **特集** 債権保証型後払い決済サービス
「DSK後払い」のサービス開始
について
- 05 連結財務ハイライトと
2020年12月期通期業績見通し
経営指標の推移／事業別の業績
- 08 シリーズ・お客さまとともに
Vol.16
- 09 DSK TOPICS
- 10 会社概要及び株式情報
- 裏表紙 DSKラウンジ

ちゅうじょう ひめ せい がん ざくら 中将姫誓願桜

岐阜県岐阜市大洞

岐阜市街の東方、願成寺の境内にあり、樹高8.1m・幹径1.5m、淡い桜色の花を咲かせるヤマザクラの変種。花卉の数が20から30とヤマザクラよりも多く、同種の桜は他に確認されておらず、ブルヌス・フロリドラ・ミヨシの学名が与えられています。樹齢は1200年程度とされており、平安時代初期に中将姫が病気の治癒をこの寺で祈り、平癒したためにこの桜を植えたという伝説があります。1929（昭和4）年に文部省から天然記念物に指定されました。

（写真提供：岐阜新聞社）



株主の皆さまへ

売上、利益ともに計画を達成し
前年を大きく上回る結果となりました。

代表取締役社長執行役員 COO
(最高執行責任者)

たなか やすのり
田中 靖哲

代表取締役会長執行役員 CEO
(最高経営責任者)

みやち まさなお
宮地 正直

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

2019年12月期（第53期）の決算の概要がまとまりましたので、株主の皆さまにご報告させていただきます。

当期における日本経済は、緩やかに回復傾向ではあるものの、依然として先行き不透明な状況にあります。このような中、当社グループの業績は、売上高は前期比9.9%増の402億2百万円、利益面では営業利益は前期比36.0%増の22億68百万円、経常利益は前期比35.9%増の23億38百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比52.8%増の15億59百万円となりました。

セグメント別の業績について、情報サービス事業では、情報処理サービスにおいて、請求書作成代行サービスや各種ギフト処理サービスのほか、バックオフィスサービスの新規大型案件を獲得したことなどにより売上が好調に推移いたしました。SI・ソフト開発においては、オートオークションシステム、地方自治体向け業務システム、デジタルサイ

ネージ及びG Suiteなどのクラウド関連サービスが好調に推移したこと、またWindows 7のサポート終了による機器入れ替えや消費税増税に伴うシステム改修などもあり、売上が大きく伸びました。

収納代行サービス事業では、主力のコンビニ収納件数は大型連休や相次ぐ自然災害の影響により苦戦したものの、地方自治体向けの収納件数は順調に推移いたしました。また、スマートフォン決済アプリの新規獲得状況は計画を大きく上回って推移いたしました。スーパーマーケット及びドラッグストアチェーン向けの収納窓口サービスにおいても、順調に増加いたしました。

2020年12月期（第54期）も増収・増益を計画しております。新サービスを立ち上げ（詳細はP3~4をご参照ください）、さらなる事業拡大に向け、グループ一丸となって鋭意努力してまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

配当について

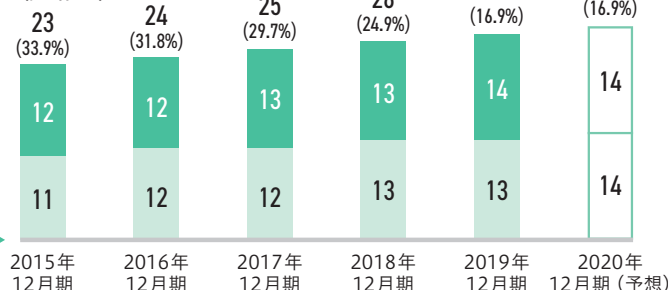
当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、2019年12月期は中間13円、期末14円の年間27円となりました。2020年12月期は中間14円、期末14円の年間28円を予定しております。

1株当たり配当額の推移 (単位: 円)

■ 1株当たり期末配当額

■ 1株当たり中間配当額

年間配当額 (配当性向)



債権保証型後払い決済サービス

「DSK後払い」のサービス 開始について

業界最多の決済サービスメニューをもつ
総合決済プロバイダーだからこそできる後払いサービスがあります



取締役副社長執行役員
ECソリューション事業本部長
松浦 陽司

03

電算システムは1997年に民間初のコンビニ収納代行サービス事業を開始して以来、多くの決済チャネルの開拓に取り組み、現在は業界最多の決済手段を請求事業者と支払者の間に立って提供しております。

これまで事業者には様々な収納代行サービスを提供してき

た電算システムが、今回、電算システムグループとして、連結子会社の株式会社DSテクノロジーズ（本社：東京都中央区）と本格的にBtoC向け債権保証型後払い決済サービス事業に取り組み、2020年7月よりサービスの提供を開始いたします。

債権保証型後払い決済サービスとは

債権保証型後払い決済サービスは、収納代行会社が事業者の債権を保証し、支払者に代わって事業者へ立替払いをするサービスであり、請求事業者、支払者双方のメリット（右表）が合致し、近年、急速に伸びている決済サービスの一つです。「DSK後払い」では、総合決済プロバイダーとしてのノウハウを生かし、請求事業者と支払者の双方に、電算システムグループならではの債権保証型後払い決済サービスを提供できると考えております。

債権保証型後払い決済サービスのメリット

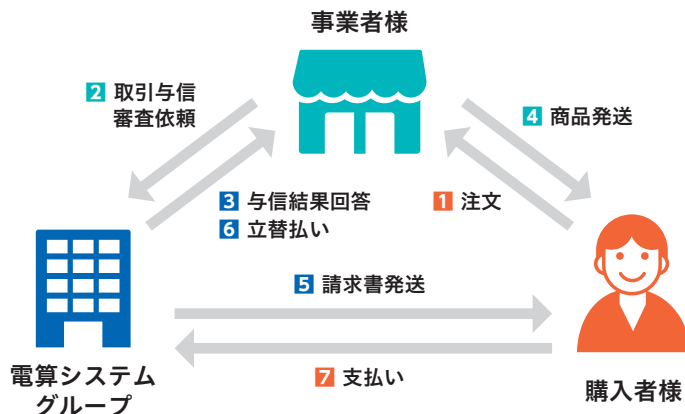
請求事業者のニーズ

- 債権の未回収リスクがない
- 請求書発行などの事務コストを削減できる
- すぐ発送できるためキャンセルされるリスクが少ない
- クレジットカード決済に抵抗があるユーザーを開拓できる

支払者の利便性

- 商品内容を確認後に支払いができるので、先払いすることの不安や抵抗を解消できる
- 発送が先なので商品の受け取りが早い
- 自分のタイミングで支払いができる
- クレジットカード以外での支払いができる

「DSK後払い」のサービス概要



詳細

- 1 決済方法としてDSK後払いを選択
- 2 購入者の与信依頼を実施
- 3 AI与信エンジンによる与信結果を回答
- 4 商品発送時に債権が事業者から電算システムグループへ移動
- 5 コンビニ払込票付請求書を発行
- 6 商品到着をもって事業者へ立替払い
- 7 主にコンビニへ払込票を持参し支払い

「DSK後払い」の特徴

- リスクを抑えた「保証型」も、自由度の高い「保証なし型」^(※1)も電算システムよりワンストップで提供可能
- コンビニ払込票以外の多様な支払い方法展開。業界最多の決済サービスメニューをもつ総合決済プロバイダーだからできる、支払者に利便性の高い決済サービスを複数^(※2)提供が可能
- 独自ノウハウによる審査ルールと、AI与信エンジン^(※3)の組み合わせにより多面的かつ高精度な与信を実現

- ※1 事業者様において債権回収をおこなっていただく形です。
- ※2 現在展開されている債権保証型後払い決済サービスにおいては、支払い方法の多くが払込票によるコンビニ支払い、または銀行支払いに限られています。電算システムでは、払込票を使用せずスマートフォンに表示されたバーコードを表示することで支払いが可能なPAYSLEや、口座振替、複数のスマホアプリ決済による支払いに対応することができます。
- ※3 DSK後払いサービスの与信エンジンは、注文情報を分析し、人間の高度な知性と経験により得られる情報（商品の目的、注文品のお届け先、住所・氏名・電話番号の整合性他）から、「注文の意図」を感じ取り、それらを踏まえて支払う可能性を予測する与信エンジンです。たとえば、機械的な完全一致だと見つからないが、人が見たら同一だと認識できる住所を見つけることができます。

今後の取り組み

「DSK後払い」サービスは7月に提供開始を予定しておりますが、まずは本番に備えたパイロット展開をおこない、早期の充実化を実現します。電算システムは、これまでコンビニ収納代行サービスのパイオニアとして、払込票を利用した決済サービスを、時代に即したより便利な決済サー

ビスにバージョンアップしてまいりました。今後はこれまで培った払込票決済サービスのノウハウを電算システムグループで総合的に展開し、サービスの導入から運用全般まで電算システムグループならではの決済サービスの提供に取り組んでまいります。

連結財務ハイライトと2020年12月期通期業績見通し

当社グループの2019年12月期（第53期）における業績・財務概況及び次期の業績予想についてご報告いたします。

2019年12月期 業績のポイント



売上高400億円超、営業利益20億円超となりました。

売上は前期比9.9%の増収、営業利益は36.0%、経常利益は35.9%、純利益は52.8%と、前期を上回る大幅増益となりました。



利益が大幅にアップいたしました。

情報サービス事業の牽引により、期首計画値、上方修正値を上回り、営業利益率は、前期の4.6%から5.6%に上昇しました。

※単位：百万円、単位未満切り捨て

連結損益計算書（要約）※

	前期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで	当期 2019年1月1日から 2019年12月31日まで
売上高	36,576	40,202
売上総利益	6,065	6,914
営業利益	1,668	2,268
経常利益	1,720	2,338
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,020	1,559

連結貸借対照表（要約）※

	前期 2018年12月31日現在	当期 2019年12月31日現在
資産合計	38,704	37,024
流動資産	32,875	31,043
固定資産	5,829	5,980
負債合計	29,167	26,150
流動負債	27,173	24,435
固定負債	1,993	1,715
純資産合計	9,537	10,873

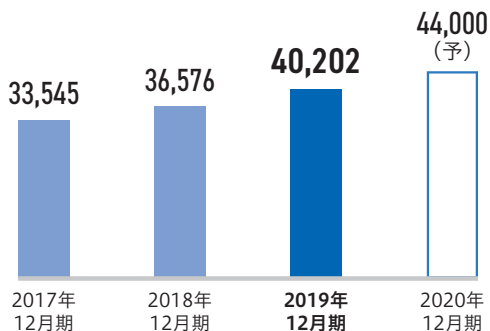
2020年12月期 通期業績見通し

2020年12月期（第54期）の連結業績は、売上高440億円（当期比9.4%増）、営業利益23億85百万円（当期比5.1%増）、経常利益24億30百万円（当期比3.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益16億22百万円（当期比4.0%増）を見込んでおります。

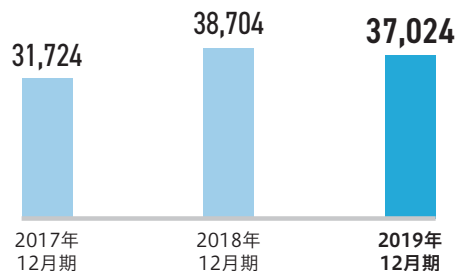
経営指標の推移

単位：百万円、単位未満切り捨て

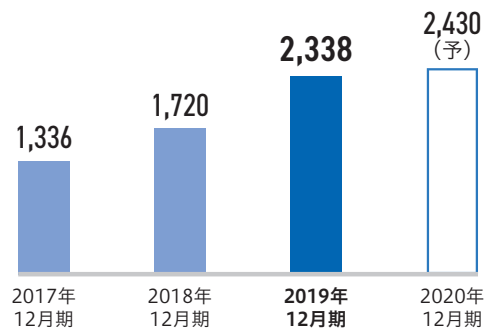
売上高



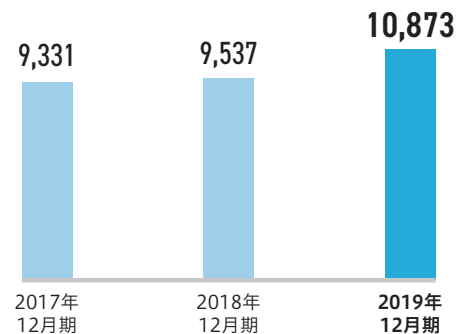
総資産



経常利益

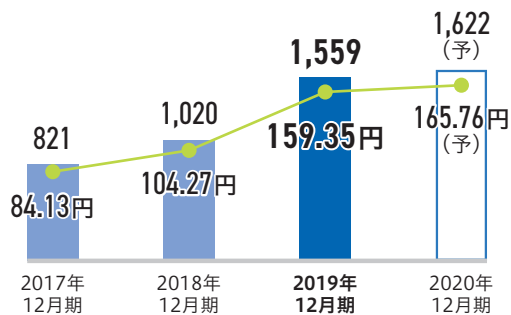


純資産



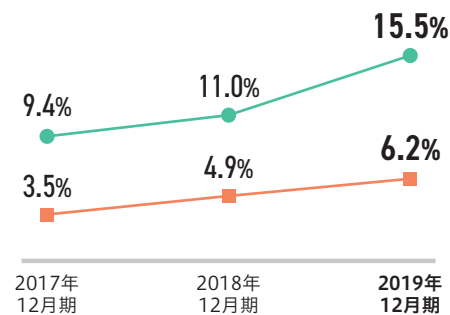
06

親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



● 1株当たり当期純利益

自己資本当期純利益率 (ROE)／総資産経常利益率 (ROA)



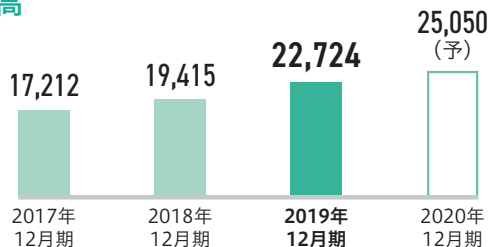
● ROE ■ ROA

事業別の業績

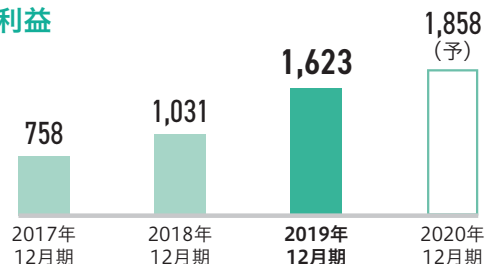
単位：百万円、単位未満切り捨て

情報サービス事業

売上高



営業利益



売上高は、前期比17.0%増収で227億24百万円、営業利益は、前期比57.3%増益の16億23百万円となりました。

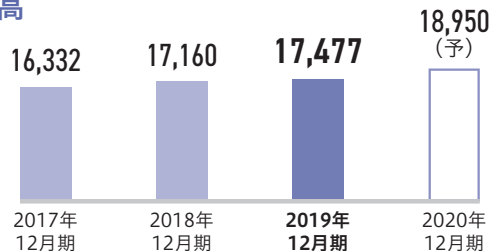
情報処理サービスは、バックオフィスサービスにおける新たな大型案件の獲得をはじめ、各種情報処理サービスの売上が好調に推移しました。また、SI・ソフト開発も各種業務システムやデジタルサイネージ、G Suiteなどのクラウド関連サービスも好調に推移したことなどから、大幅な増益となりました。

2020年12月期 通期業績見通し

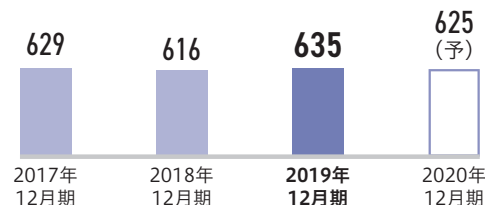
情報処理サービスでは、BPO事業の量的拡大と質的充実により、サービスの向上と規模の拡大を目指します。SI・ソフト開発では、基幹系システム分野における大型案件の受注と大手SI企業との協業による取引規模の拡大に取り組み、また、G Suiteを中心としたクラウドサービス分野やデジタルサイネージ事業においても、需要の増加を追い風にさらなる拡大を目指します。AI活用による解析サービスの提供や次世代技術への対応にも注力しつつ、事業全体として増収増益を見込んでいます。

収納代行サービス事業

売上高



営業利益



売上高は、前期比1.8%増収で174億77百万円、営業利益は、前期比3.1%増益の6億35百万円となりました。

主力のコンビニ収納は、通販等事業者先の収納件数の落ち込みや、大型連休や自然災害の影響を受け苦戦しましたが、地方自治体先収納件数は順調に推移しました。また各種スマートフォン決済アプリの充実により新規取引先は計画を上回る獲得となり、店舗向け収納窓口サービスも順調に増加いたしました。

2020年12月期 通期業績見通し

スマートフォンを活用した新しい支払い方法をお取引先に広め、提携先をさらに拡大することで同業他社との差別化を図りつつ、同時に情報収集、分析にも一層力を注いでまいります。また、国内送金サービス事業の拡大や、国際送金サービスにおける取扱い窓口を増やすなど、消費者の利便性を追求する新たなサービスの創出に努め、大きな成長が見込まれる分野に経営資源を集中して事業拡大に取り組んでまいります。



お客さま満足度に貢献するDSKのスマートフォンアプリ決済

わかさ生活様について

株式会社わかさ生活様（以下、わかさ生活様）は、企業目標に「ブルーベリーで世界を目指す目の総合健康企業」を掲げ、主力商品であるブルーベリーアイシリーズを中心としたサプリメントの商品企画・販売事業を行っていらっしゃいます。

1998年に大阪府高槻市にて『ブルーベリーアイ』の通信販売をスタートさせ、2020年1月現在、ご愛飲者数は全国330万家族に達しておられます。お客さまが毎日飲む商品だからこそ、原材料や成分、配合バランス、そして品質と安全性にこだわり、どの商品も自信を持ってお客さまにおすすめできる最高品質の商品をお届けしたいと、商品の品質には特にこだわりを持って提供を続けていらっしゃいます。

当社が提供したサービス

わかさ生活様は1999年12月より通信販売での代金回収にコンビニ収納代行サービスをご利用いただいております、当社が収納代行をスタートさせたのが1997年1月ですので、わかさ生活様には長くコンビニ収納代行サービスをご利用いただいていることになります。

さらに、わかさ生活様には2017年より当社が積極的に取り組んでいる、払込票によるスマートフォンアプリ決済をいち早くご導入いただいております、昨年12月に導入を開始いたしました「PayPay請求書払い」もすでにご利用いただいております。

払込票を利用したスマートフォンアプリ決済サービスは、払込票コンビニ決済の普及性、利便性を活かしたものであり、事業者様からの関心が高くお問い合わせの多いサービスとなっております。当社は今後もキャッシュレス決済の広がりを背景に、スマートフォンアプリ決済サービスの需要が高まるものと考えております。



▲ わかさ生活様 オフィス



▲ 主力商品である『ブルーベリーアイ』

わかさ生活様からのコメント

Q スマートフォンアプリ決済にみられるキャッシュレス決済について、どのような印象（お考え）をお持ちですか？

A ほとんどの世代でスマートフォンが普及している現代において、財布やクレジットカードを持ち歩かなくても、スマートフォンさえあれば利用できるという便利で簡単な支払い方法であるという印象です。

Q 弊社のスマートフォンアプリ決済を導入していかがでしたか？

A わかさ生活のお客さまや従業員からも便利で嬉しいとの声があがっています。導入して良かったです。

Q 今後、電算システムに期待するものは？

A 世間の動きは速く、求められているサービスは日々進化していますが、より便利で簡単な決済方法がスピーディに安全に導入、利用ができるよう、今後ともよろしくお願いします。

東濃インターネットデータセンター増築

市場の成長と共に さらなる拡大を目指す

AIやIoTの利用が拡大し、それらの稼働基盤として今後クラウドサービスの需要が一層高まるとみられています。国内データセンターサービス市場における2017年から2022年の年間平均成長率は8.6%と高い成長率が予想されており、今後の市場規模拡大が期待されます。

当社は、こうした高まるデータセンター需要に対応するため、DSK東濃ITビジネスパーク（岐阜県土岐市）内にある東濃インターネットデータセンター（東濃IDC）に新型モジュール棟を増築する計画を決定し、2020年秋の稼働に向け準備を開始いたしました。モジュール型データセンターは、ビル型の「堅牢性」とコンテナ型の「省コスト・省エネルギー・省スペース」の2つのメリットを併せ持ちます。当社は、今後の市場動向に合わせてこの新型モジュールでの増築を順次重ねていく方針です。

多様化する顧客ニーズに柔軟に対応

今回増築する新型モジュール棟では、ユーザーの多様なニーズに応えられるよう柔軟性を向上いたします。



具体的には、従来東濃IDCで展開している「仮想化ホスティングサービス」及び「ハイブリッドクラウドサービス」に加え、ユーザー所有のサーバやネットワーク機器の設置スペースと電源を提供する「ハウジングサービス」、24時間365日センターに常駐する専任スタッフによる「リモートハンドサービス」等において、顧客ごとの複雑で幅広いニーズに積極的に応えてまいります。さらに、当社の最大の強みであるSI（システムインテグレーション）に仮想化ホスティングを活用するオールインワン提案にも注力いたします。データセンター事業のさらなる拡大を図り、当社の総合力の発揮を目指してまいります。

会社概要及び株式情報 (2019年12月31日現在)

会社概要

商号	株式会社電算システム (Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	1967年3月14日
資本金	12億2,921万円
従業員	連結799名 (単体594名)
事業内容	・ 情報サービス事業 (SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・ 収納代行サービス事業
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771

株式の状況

発行可能株式総数 (普通株式)	29,760,000株
発行済株式の総数 (普通株式)	10,040,000株
株主数	14,959名

大株主

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
ヒロタ株式会社	890,100	8.8
電算システム従業員持株会	727,883	7.2
株式会社十六銀行	441,900	4.4
株式会社大垣共立銀行	424,900	4.2
宮地 正直	416,370	4.1
岐阜信用金庫	359,900	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	259,400	2.5
株式会社トーカイ	257,180	2.5
TIS株式会社	200,000	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	150,700	1.5

※順位においては、自己株式254,901株を除いており、持ち株比率は小数点第2位を切り捨てて表示しております。



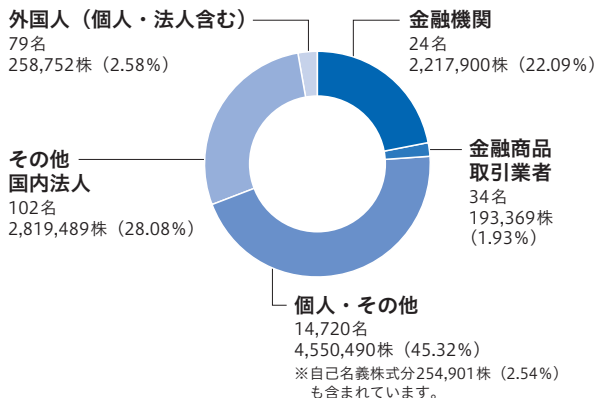
取締役 (2020年3月25日現在)

代表取締役会長執行役員CEO	み や ち ま さ な お 宮地 正直
代表取締役社長執行役員COO	た な か や す の り 田中 靖哲
取締役副社長執行役員	ま つ う ら よ う じ 松浦 陽司
取締役副社長執行役員	た か は し じ ょ う た 高橋 譲太
専務取締役執行役員	こ ば や し り ょ う じ 小林 領司
専務取締役執行役員	す ぎ や ま ま さ ひ ろ 杉山 正裕
取締役執行役員	や し ま け ん た ろ う 八島 健太郎
取締役執行役員	わ た な べ ゆ う す け 渡邊 裕介
取締役執行役員	か と う き み と し 加藤 公敏
取締役執行役員	つ じ も と お さ む 辻本 治
取締役 監査等委員	さ わ ふ じ の り ひ こ 澤藤 憲彦
取締役 監査等委員	と み さ か ひ ろ し 富坂 博
取締役 監査等委員	の だ ゆ う じ 野田 勇司

(注)

- CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
- COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
- 富坂博氏、野田勇司氏は、会社法第2条15号に定める社外取締役であります。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご紹介

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。
個人投資家向けIRサイトも設置しておりますので、ぜひご覧ください。



IRサイト

<https://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>

個人投資家向けIRサイト

<https://www.densan-s.co.jp/ir/individual/index.html>

IRメールマガジンに
ぜひご登録ください！

当社の最新ニュースなどをEメールでお知らせするIRメール配信をしております。当社ホームページにて登録を受け付けております。ぜひ、ご活用ください。



電算システムIR
メールマガジン

登録はこちら



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 https://www.densan-s.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の
口座管理機関
郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 電算システム

岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456
東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771
<https://www.densan-s.co.jp/>